



一生ものの経験

明治大学農学部食料環境政策学科3年

井嶋 将人

10月18日から10月26日までの9日間、タイで行われた国際農業文化理解プログラムに参加してきました。このプログラムでは、タイにある国際連合食糧農業機関（FAO）の会議所を借り、国連の会議を模した模擬国連を学生だけで行うということで、その準備に四苦八苦しました。

特に私は会議の運営を任されていたため、タイの大学生と英語で会話をし、事前に会議の進め方や議長の仕事を決めるなど、会議を自分達が作り上げていく点に最も難しさを感じました。どの大学も半年近く前からこの会議のためにプレゼンテーションなどを準備していたために、会議の失敗は許されないという状況の中、様々な方の協力の下、無事会議を運営できたことは自分の自信になりました。



また、国を超えて異文化の人と仕事をするというのも今回が初めてであり、その難しさに戸惑いました。それは言葉の違いだけではなく、文化や価値観の違いから生じていて、他国の方と仕事をする際は、このことを乗り越えないといけないと実感しました。

9日間という短いプログラムでしたが、今回得た経験は一生ものになったと感じています。たくさんの方の協力の下、この素晴らしいプログラムに参加できました。本当にありがとうございました。